

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	ナノゲルハイブリッド材料の創製と医療応用
研究代表者	秋吉 一成（京都大学・大学院工学研究科・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究は、薬物送達（Drug Delivery System: DDS）技術に不可欠な新規ナノゲル設計とそれを構成単位（テクトン）とするナノゲルテクトニクス（ナノゲル基盤構築法）の確立、及び医療応用を目指してバイオ材料と融合した階層的ナノハイブリッド材料の開発を目的とした先駆的な提案である。応募者はこれまで当該分野で国際的にも優れた研究成果を数多く発表している。これらの研究成果に裏付けされ、本研究は着実に遂行され、十分な研究成果を上げることが期待される。一部、学術的な新規性の懸念もあったが、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>